

## 建設水道委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成30年 6月19日 開会 9時57分 閉会 15時27分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

荒木謙二 坊野公治 大滝文則 上野安是

細羽敏彦 多賀信祥

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 副議長 惣台己吉

(3) 説明員

副市長 三宅生一 未来創造部長 妹尾光朗

建設部長 橋本良啓 水道部長 妹尾福登

未来創造部次長 猪原慎太郎 建設部次長 谷本悦久

水道部次長 田中伸廣 芳井支所長 岡田光雄

美星支所長 川上邦和 いばらぐらし推進課長 川上益史

企業誘致課長 田中大三 農林課長 岡本健治

都市建設課長 西田直樹 下水道課長 飛田圭三

総務課長補佐 片井啓介 魅力発信課長補佐 金政吉伸

上水道課長補佐 熊原康治 都市建設課都市管理係長 武智義仁

(4) 事務局職員

事務局長 川田純士 事務局次長 岡田光雄

主査 柳本兼志

### 6. 傍聴者

(1) 議員 妹尾文彦、三宅文雄、佐藤 豊、森本典夫

(2) 一般 0名

(3) 報道 1名

### 7. 発言の概要

**委員長（荒木謙二君）** 皆さんおはようございます。

定刻より少し早いようですが、皆さんおそろいですので、ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

**副市長（三宅生一君）** 皆さんに、改めましておはようございます。

梅雨のこのうっとうしさの中にも、彩りのあるこのアジサイが本当に心に和みを与える、そんな季節を迎えたところであります。

そうした中、けさの新聞にもトップに出ておりましたが、昨日の地震が殊のほか大きい影響を持っていったのだなというふうにも思い知らされたところであります。4人の方が亡くなられ、330人の方がけがをされ、また1,300人を超える方が避難をされているというふうな報道だったかなというふうに思っております。中でも、登校中の小学校4年生の子がプールの壁の崩れ倒れによって下敷きになって亡くなられてるということで、こういった犠牲者を出したことに本当に胸の痛いところがあります。犠牲となられた方には、ご冥福をお祈り申し上げたいというふうにも思っております。

また、インフラ整備の大切さというものについても強く心を動かされたわけですが、今回委員会に臨んでおります執行部の者も道路、水路、そして水道、下水、それから建築物にかかわる、あるいは工作物についてのかかわり、こういったものが強く要るわけがあります。本市としまして、各部署の対応について気を引き締めてやっていきたい、市民の負託に応えるべく頑張っていきたいというふうにも思っております。

そうした中、本日は建設水道委員会を開催いただきました。皆様方には何かとご多用の中お繰り合わせをいただきましたこと、本当にありがとうございます。

新設いたしました未来創造部の部長を初め、新スタッフで臨む最初のこの建設水道委員会になるのだろうというふうにも思っておりますが、今まで同様に丁寧にそしてきめ細かい説明に心がけたいというふうに思っております。

さて、この委員会に付託されております案件であります。所管事務調査の調査事項が1件ということでございます。皆様方にはいろいろな角度からご意見をいただきながら、今後の市政に活かしてまいりたいというふうに思っております。

なお、お手元に平成30年6月市議会報告事項ということでお配りをさせていただいております。委員の皆様方には後ほどお目通しのほうをよろしくようお願い申し上げたいというふうに思います。本日はどうぞよろしく申し上げます。

**〈議長あいさつ〉**

(1) 所管事務に関する執行部からの報告について

〈農業共済団体等の1県1組合化について〉

〈なし〉

(2) 所管事務調査について

**委員長（荒木謙二君）** 本日の所管事務調査事項は、平成30年度公共事業等事業計画についてであります。

このほかに不測の事態により緊急に所管事務調査事項として追加すべきと思われる提案がございましたら、ご発言願います。

〈なし〉

〈平成30年度公共事業等事業計画について〉

**委員（大滝文則君）** 1件だけお尋ねいたします。

7ページの農林事業の関係で、中山間地域総合整備事業、これは当初の計画には全体計画があったと思うんですけども、当初の全体計画は何年度から何年度までの予定で策定されていたのか、その後変更があったのか、今後のこれに係る動向についてどういうふうに把握されているかという辺をお知らせいただきたいと思います。

**農林課長（岡本健治君）** お尋ねの中山間総合整備事業でございますが、この事業は当初平成25年から平成30年度までの6カ年事業ということでございましたけども、事業費の関係で延長されまして、県のほうから聞いておりますのは2年間延長ということで、平成32年度までの事業になったということでございます。

**委員（大滝文則君）** 県の予算が平準化という関係で延びたのかなという感じがするんですけども、当初の計画のとおり、全部の事業が32年をもって終了するというところでよろしいでしょうか。

**農林課長（岡本健治君）** その予定で進めております。

**委員（大滝文則君）** はい、わかりました。この中山間総合整備事業というのは非常に補

助率も高い事業だと思うので、今後そういう地域の要請があった場合、それに応じて執行部とすれば検討していくという考え方があるかないかというふうな、そのあたりをお知らせいただきたいと思います。

**農林課長（岡本健治君）** おっしゃいますように、中山間に関する事業として、総合事業として非常にいい事業でございますので、これが32年度に終わるというのを目途に、早目からまた地域要望等も聞いて計画していきたいというふうに思っております。

〈なし〉

**委員長（荒木謙二君）** 所管事務調査については終わります。

なお、本日13時より市内現場視察を行いますので、執行部の方には昼からもよろしくお願いをいたします。

ここで執行部の方にはご退席願いたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

**副市長（三宅生一君）** 終わりに当たりまして、皆様方に一言お礼を申し上げたいと思います。

委員の皆様方には終始熱心に議論をいただき、また通じていただきましたご意見等については今後の市政に必ずや反映していきたいというふうに思っております。

少し顧みますと、昭和40年から井原の区画整理を51ヘクタール、そして昭和50年から高屋の区画整理を117ヘクタール、平成10年に換地処分を終了、こういったことで町並みの大きな絵を描いていき、またあわせて都市下水路、公共下水を整備してきたところがあります。

また、農業関係においては、農村総合整備事業あるいはモデル事業等を駆使し、それぞれの農村環境あるいは生産基盤を整備してきたという、そういったことになっております。

このところこの新設改良あるいはインフラ整備については、全てが済んだということとは違うわけでありますが、大きい意味で今後はこのできたものをどう生かしていくか、あるいはどう保っていくか、維持していくかという、こういったところに軸足が変わっていくんだろうというふうにも思っております。

また、井原市は総合的なものづくりの土地であります。創生戦略を打ちたて、現在それをやっていきKPIで今後検証し、このイバラノミクスをどんどん今後も成長させていきたいというふうにも思っております。所期の成果を上げるべく、このスタッフで頑張っていきたいというふうにも思っておりますし、また新たな企業誘致を求めていきたいというふうなことを、これからさらに本気度を増して、やっていきたいというふうにも思っております。

いずれにいたしましても、7次総合計画を着実に推進するという意味でもって、職員一丸となって頑張っていきたいというふうにも思っております。

きょうのいろいろな皆様方のお考え、あるいは今後とも随所に各課へさまざまなご意見、あるいはお考えをいただきながら、それをつぶさに検証し職員で個々が一国一城のあるじという意味の気持ちを持って市政を推進していってくれる、あるいはそういうことをやっていきたいというふうに思います。

少し長くなりましたが、皆様方には本当にきょう一日ありがとうございました。また午後の現場もよろしくお願い申し上げたいと思います。ありがとうございました。

委員長（荒木謙二君） 執行部の皆さんには、大変ご苦労さまでした。

〈執行部退席〉

（3）その他

〈行政視察報告について〉

〈行政視察の所感を各委員が発表し、委員間で意見交換。〉

〈今後の委員会において取り組むべきことについて協議〉

〈委員会名の変更について〉

〈委員会名を「未来創造建設水道委員会」に変更することを議長に提案することに決定〉

〈議会への提案について〉

〈別紙回答案のとおり決定〉

委員長（荒木謙二君） 以上でこちらからは特にございませんが、委員の皆様から何かございますか。

〈なし〉

〈議長あいさつ〉

委員長（荒木謙二君） それでは、以上で建設水道委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

○「議会への提案」

内 容	協議先
<p>毎日ご苦労様です。</p> <p>ここに手紙にしましたのも、体験者でなくては解らないことも有りますが、以前井原市の宿泊設備についてお伺いをしましたところ、児童会館、経ヶ丸、美星、など有るので宿泊にはそこを利用して下さいとの事でした。児童会館につきましては、二段ベッドで寝ることは出来ますが、敷布団と毛布一枚です。春先、寒いときには暖房もなく寝るには余りにも寒いのが現状です。冷暖房装置をつけてもらうようお願いをしましたが、寒いときは誰も泊まらないから、冷房だけですとのことで、いまだにそのまま、しかも冷房も聞かない部屋が有り、不親切極まりない井原市です。担当部署でやる気がないのか、考え方の相違なのか良く解りませんが、設備をしてないから宿泊する人がいないと私は思うのですが、わたしの考えが間違っているのでしょうか。また経ヶ丸においても同じで、炊事、風呂、洗濯、寝具全く整っていないで、それを宿舎としているようで話になりません。</p> <p>私は担当部署、或いは市の幹部の方たちが一度体験して何が必要か、どうすれば年間を通して人を井原に呼んで来れるか、検討してもらってはいかがかと思えます。この時季児童会館でも現状で泊まって暖かくぐっすり眠れるかどうか。何年前かに市長宛にこのようなをお願いしたことが有ります。前述のような回答でした。</p> <p>私は、現状では、市体育館、グラウンド等利用者が増えて来ているので、体育館の南側の駐車場の上に宿泊所食事をするところ（日常は食堂として軽食喫茶にして）を作れば良いのではないかと思います。100人規模の大きさと20人規模に区切れるようにして、人を井原に呼び寄せるようにすればと思っております。このことも前に申し上げましたが一蹴されました。</p> <p>人口減少に有る中で、人を寄せる事を考えないと人は来ないと思えます。</p> <p>何方でも構いません、体験していただいて、どう云うのが宿泊所なのか考えていただきたいと思っております。他県施設なども見学研修していただきより良いものを作って行ってもらいたいと思えます。これが緊急事態の時にも役立つ場所となるかもしれません。</p> <p>やる気なさが余りにも腹が立ってお手紙にしました。一度皆様で検討してみてください。大変お忙しいと思えますが、井原を思っているものが、ここにもいるのかと思っております。やって下さい。</p>	<p>総務文教 建設水道</p>

回答（案）

経ヶ丸の施設「グリーンスポーツハウス」について執行部に確認しましたところ、『グリーンスポーツハウスは「市民が豊かな自然環境の中で野外活動を通じて基礎体力を養い、健全な心身の育成を図る」ことを目的として設置している施設であり、宿泊での快適性を求めるものではなく、経ヶ丸の豊かな自然を肌で感じながらお過ごしいただく施設であります。利用実績を見ましても、市内各地区少年団の夏休みの宿泊研修や民間事業所の社員研修など、研修目的での利用が主であり、現状の設備で問題ないものと認識しております。』との回答があり、議会としまして施設の設置目的や利用状況を踏まえて現地を確認しましたところ、一部施設の老朽化は見られますが現状の設備で問題ないものと考えております。